

質問者



松本一二美 議員

問

ゼロ歳児検診の機会にブックスタートを

絵本の読み聞かせは、生後4～5ヶ月の赤ちゃんから始めると良いと言われています。ブックスタートは、肌のぬくもりを感じながら、言葉と心を通わすかけがえのないひとときを、絵本を介して持つことを応援する運動です。

乳児検診の時に、赤ちゃんの時期のかかわりの大切さと松前町の子育て支援の思いを、絵本のプレゼントと一緒に、すべての赤ちゃんに届けていただきたい。

検診に来られない保護者に対しては、家庭訪問をして手渡していただきたい。



答

協議会で論議中

答弁 白石町長

平成16年度の事業として、松前町次世代育成支援対策地域協議会で地域行動計画の策定作業に取り組んでいます。ブックスタート事業の取り組みも論議中で、この計画に反映されると思います。



ブックスタートの様子

問

子供たちに本物の舞台芸術を

物の豊かさだけでなく心の豊かさを大切にする時代になり、「文化芸術振興基本法」が2001年11月に成立しま

した。

子供たちが、本物の芸術に触れる機会を増やしていこうとの趣旨で、「本物の舞台芸術体験事業」が文化庁・国の予算で行われます。この事業は、それぞれの学校での申し込みとなり、申請した学校の体育館などでの実施になります。町として、意欲的に取り組みをして、子供たちのためにもぜひ実現を要望します。

答

モダンダンスの公演を昨年実施

答弁 赤星教育長

公立文化施設公演事業として、昨年10月に当町文化センターで小・中学生を対象としたモダンダンスの公演を実施しました。こうした公演は財源的にも有利な事業であるので、今後も要望したいと思いません。

今後とも感受性豊かな児童・生徒の育成のため、あらゆる機会をとらえて情操教育の振興に取り組みます。



問

防災意識の徹底と災害時の体制について

防災無線が聞こえにくい。防災無線の設置状況と防災無線の音の届く範囲はどうなっているか。

緊急時の連絡体制、各課の連携は徹底しているか。職員で「防災スペシャリストチーム」を作っているかどうか。

住民一人ひとりの意識の向上や「みんなのまちはみんなで守る」自主防災組織の取り組みが大事です。行政として、より一層の防災知識の普及に努力をしていただきたい。

答

自主防災組織 結成へ

答弁 吉田総務課長

防災無線は町内24地区の消防詰め所と役場屋上に設置。

緊急の際には、サイレンの併用、広報車の使用等、ありとあらゆる手段で情報伝達に努めます。

松前町職員の緊急時の活動体制は、台風や大雨の際、必要に応じて役場内に対策本部を設置して対応しています。町内各地に自主防災組織が結成されるよう、働きかけや情報提供を行います。



総合防災訓練